

中日对照

日本文化精解

著◎郑澄

译◎宋协毅

张雪松

周扬

佟利功

宋晗



大连理工大学出版社

高等教育科研与教学用书

中日对照 日本文化精解

著◎郑澐

译◎宋协毅 张雪松 周扬 佟利功 宋晗



大连理工大学出版社

「日本語で読む 日本文化」

郑滢 著

“Read Japan Culture By Japanese”

by Hyeong Jeong

Copyright ©2013 Hyeong Jeong/Darakwon, Inc.

All rights reserved.

This edition is published by arrangement with Darakwon, Inc., Seoul

The original Japanese edition published by Darakwon, Inc.

著作权合同登记号:06—2014 年第 126 号

版权所有·侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

中日对照·日本文化精解 / 郑滢著; 宋协毅等译

— 大连: 大连理工大学出版社, 2014. 11

原书名: 日本語で読む 日本文化

ISBN 978-7-5611-9568-0

I. ①中… II. ①郑… ②宋… III. ①文化—介绍—
日本—汉、日 IV. ①G131.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 228252 号

出版发行: 大连理工大学出版社有限公司

(地址: 大连市软件园路 80 号 邮编: 116023)

印刷: 大连力佳印务有限公司

幅面尺寸: 185mm×260mm

印 张: 12.5

字 数: 289 千字

出版时间: 2014 年 11 月第 1 版

印刷时间: 2014 年 11 月第 1 次印刷

责任编辑: 于 洋

封面设计: 董振巍

责任校对: 赵 洁 王 猛

ISBN 978-7-5611-9568-0

定 价: 35.00 元

发 行: 0411-84708842

邮 购: 0411-84708943

传 真: 0411-84701466

E-mail: dutp@dutp.cn

URL: <http://www.dutp.cn>



译者序

——写在《中日对照·日本文化精解》出版之际

2011年金秋，在我应邀赴韩国檀国大学国际研讨会演讲时，收到了《日本語で読む日本文化》的作者，韩国著名日本文学、日本文化研究学者郑湜先生的赠书。由于此前我校日本语言文化研究中心已与檀国大学日本研究所签署了学术交流协议，所以我与郑先生商量，作为两个研究所日本文化研究系列项目中的一项内容，将郑先生的这本书翻译成中文出版，使中国读者可以有机会接触到韩国顶尖学者的日本文化研究成果，并将本成果作为庆祝中日两国邦交正常化40周年和中韩两国建交20周年的献礼。郑先生欣然同意，并在版权等问题上提供了极大的帮助。于是，2012年年初，我与大连大学日本语言文化学院的张雪松、周扬、佟利功等三位赴日留学归国的青年博士组成翻译小组，开始了翻译工作。

2012年是中日两国邦交正常化40周年，也是中韩两国建交20周年的年份，中日韩三国本应同喜同贺，共庆东亚地区的和平与发展。可是，就在中国两国建交后的“不惑之年”，中日、韩日、俄日之间的领土纠纷等问题不断升级、日趋激化，使得东亚地区爱好和平的人们一直为此忧心忡忡。石原慎太郎等一小撮右翼分子挑起的“钓鱼岛争端”，深深地伤害了中国人民的感情，我们的翻译工作也受到很大的影响。而我们一致认为，越是在这种情况下，越应该把本书译完，使得中国读者可以通过本书更加深刻地了解日本和日本文化的精髓，使得我们在对日交往和友好交流的过程中，能够保持一颗清醒的头脑，能够做到“朋友来了有好酒，敌人来了有猎枪”。

经过多方努力，全书初稿在2012年暑假前完成。我和在东京大学攻读硕士的儿子宋晗一起，在炎热的夏日里，耳边听着有关钓鱼岛令人揪心的报道的同时，从头到尾对初稿进行了精心校对、订正、删改。9月份，将全书文稿发给了郑先生，请先生过目并对日文删节的部分进行了说明，同时请先生做中文版序。郑先生在百忙之中，对日文部分进行了审阅，将截至2012年年底的众多政治、经济、文化、社会等相关数据进行了更新，并撰写了热情洋溢的前言。

2013年元旦，郑先生发来贺年信，并发来日文修订版及前言等。我也在年初期末的忙乱中又对中文版进行了修订，至此，总算完成了这本书的翻译工作。经过多方的周折，今天这本书终于要面世了。

感谢郑老师，感谢翻译小组的四位年轻人。愿中日韩三国人民世代友好下去，愿东亚地区能有一个温馨和平的环境！

译者代表 宋协毅
于满目青葱的大黑山下
2014年4月吉日

著者序

——『日本語で読む日本文化』の中国出版に寄せて

はじめに、拙書『日本語で読む日本文化』（2007年初版刊行）が中日対訳形式で中国の読者のみなさんに紹介されることになったことを大変うれしく思います。

韓国、中国、日本という東アジアの重要3か国は、善隣友好の国家関係を維持してはいますが、過去の歴史の清算問題、領土問題などによって、部分的には依然として不協和音が続いていることは周知の事実です。このような問題を解決するためには、過去を真摯に省察しようとする日本の努力が必要なことはもちろんですが、韓中日3国が東アジア共同体の一員としてお互いに理解し協力する姿勢も同様に必要でしょう。この本はそのような問題意識の延長線上で、日本について学ぼうとする大学生や一般読者のために日本文化の核心となる基層16分野に関して、客観的で比較文化的な視角によって記述したものです。中国での出版の過程で、中国の現実を考慮して〈日本人の性意識〉の章を削除し、〈天皇と日本人〉の章は内容を一部縮めました。ぜひこの本の学習を通してより望ましい日本理解および日本論に関する認識が深まることを願ってやみません。

最後に、この本の中国出版実現に大きな努力をしてくださった、大連大学の副校長であり、著者の中国における唯一の義弟である宋協毅教授に深く感謝を捧げ、この出版を契機に宋協毅教授との義兄弟之交と韓中友好がいつそう深まることを望みます。

2012年晩秋のソウルにて、著者鄭滢



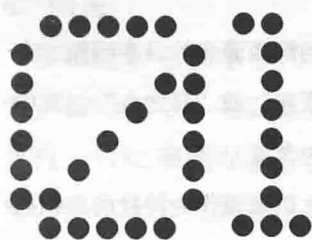
目 录

01	日本と日本人 / 日本和日本人	1
1	日本の象徴 / 日本的象征	1
2	日本人 / 日本人	5
02	日本語 / 日语	10
1	日本語の歴史と表記 / 日语的历史与书写	10
2	日本語の系統 / 日语的体系	12
3	方言と東京語 / 方言与东京话	13
4	日本語の音韻 / 日语的音韵	13
5	日本語の漢字 / 日语的汉字	14
6	日本語の敬語 / 日语的敬语	15
7	日本語の外来語 / 日语的外来语	16
03	日本の歴史 / 日本历史	19
1	先史時代 / 史前时代	19
2	原史時代 / 原史时代	20
3	古 代 / 古 代	21
4	中 世 / 中 世	23
5	近 世 / 近 世	26
6	近 代 / 近 代	28
7	現 代 / 現 代	34
04	日本の風土と日本人の自然観 / 日本风土和日本人的自然观	38
1	日本列島の全貌と位置 / 日本列岛的全貌和位置	38
2	自然と日本人 / 自然和日本人	41
05	天皇と日本人 / 天皇和日本人	48
1	天皇制とは / 天皇制	48
2	明治時代の天皇制 / 明治时代的天皇制	50
3	現代の象徴天皇制 / 现代的象征性天皇制	51
4	日本人の天皇に対する態度 / 日本人对天皇的态度	54

06	日本人の宗教意識 / 日本人的宗教意识	56
1	日本人は本当に無宗教なのか? / 日本人真的不信宗教吗?	56
2	日本の主な宗教 / 日本的主要宗教	58
07	日本の年中行事と伝統儀式 / 日本的节日活动与传统仪式	69
1	日本の祭り / 日本的(庙会等)祭祀活动	69
2	季節の祭り / 四季的节日	70
3	年中行事 / 传统活动	73
4	日本の伝統儀式 / 日本的传统仪式	79
08	日本人の美意識 / 日本人的审美观	82
1	日本人の精神構造 / 日本人的精神构造	82
2	日本人の美意識 / 日本人的审美观	85
09	日本文学 / 日本文学	93
1	日本文学 / 日本文学	93
2	古代と平安時代の文学 / 古代与平安时期文学	95
3	中世文学 / 中世文学	97
4	近世文学 / 近世文学	98
5	近・現代文学 / 近现代文学	100
6	近・現代の小説 / 近现代小说	101
10	日本の伝統芸能と芸術 / 日本传统文艺与艺术	106
1	伝統演劇と芸能 / 传统戏剧与文艺	106
2	日本の芸術と工芸 / 日本的艺术和工艺	115
11	日本の衣服文化 / 日本的服装文化	122
1	日本の衣服の変遷 / 日本服装的变迁	122
2	日本の主な伝統衣装 / 日本的主要传统服装	126
12	日本の食文化 / 日本的饮食文化	130
1	食生活 / 饮食生活	130
2	食べ方 / 饮食方法	135
3	日本料理のあれこれ / 日餐杂学	144



13	日本の住宅文化 / 日本的住宅文化	148
1	日本の住宅文化 / 日本的住宅文化	148
2	現代日本の賃貸住宅 / 现代日本的租赁住宅	154
3	大都市の集合住宅 / 大城市的住宅区	157
14	日本の教育 / 日本教育	159
1	学校教育制度 / 学校教育制度	159
2	教育制度の歴史 / 教育制度的历史	159
3	授業と学期 / 课程与学期	162
4	日本の大学 / 日本的大学	162
5	日本の教科書と英語教育 / 日本的教科书与英语教育	164
15	日本のマスコミと政治・経済 / 日本的媒体与政治、经济	167
1	日本の新聞 / 日本的报纸	167
2	日本の放送 / 日本的广播	168
3	日本の政治 / 日本政治	172
4	日本の経済 / 日本经济	181



日本と日本人

日本和日本人

1 日本の象徴

1) 国号

日本人は自分の国を「にっぽん」もしくは「にほん」と呼ぶ。これは7世紀初め、古代国家の主演であった聖徳太子（574年～622年）が、中国に送った国書で自分の国を「日出ずる国」と表現したことに由来すると伝えられている。その意味に因んで漢字で表記したのが「日本」であり、その頃から「にっぽん」「にほん」と発音していたのが今に伝えられた。「にっぽん」と「にほん」を分ける明確な基準はないが、普通、国際スポーツ大会や切手など公式の名称としては「にっぽん NIPPON」という。

今の「Japan」という英語名称の由来は2つあると言われているが、1つは中国東北地方で日本国を「Jiepenkuo」と呼んでいたものを、ポルトガル人が「Zipangu」もしくは「Jipangu」と聞き取ったという説、もう1つは中国南部地方で日本を「Yatpun」と読んでいたのをオランダ人が「Japan」と聞き取ったという説である。



1 日本の象征

1) 国号

日本人称自己的国家为「にっぽん」或「にほん」。据说,这种叫法起源于7世纪初,当时,古代日本的国家首领圣徳太子(574年-622年)在给中国的国书中称自己的国家为“日出之国”。据说后来就按照这个意思,用汉字将国名标记为“日本”二字。「にっぽん」「にほん」的发音就从那时起传至今天。「にっぽん」和「にほん」的发音并无明确的区分标准,一般在国际体育运动大会上或者邮票上,作为正式的名称使用时,将日本读作「にっぽん NIPPON」。

另外,现在的「Japan」这个英语名称据说有两个由来。其中一种说法是在中国东北地区称日本为「Jiepenkuo」,而葡萄牙人将其听成了「Zipangu」或「Jipangu」;另一种说法是在中国南部地区称日本为「Yatpun」,而荷兰人将其听成了「Japan」而得名。

▲切手の NIPPON 表記

日本という国名の読み方には「にっぽん」「にほん」の2つがあって、統一されていない。郵便切手のローマ字表記「NIPPON」である。

▲郵票上の NIPPON 标记

“日本”这个国家名称的读法有两种,一个是「にっぽん」,一个是「にほん」,并没有统一。邮票上的罗马字标记通常写作“NIPPON”。

2) 国旗

赤い丸で有名な日本の国旗は、日章旗もしくは日の丸と呼ばれている。そこには太陽の旗という意味が込められている。

日の丸は、昔から神社の旗として利用されてきたものが、16世紀頃から日本を象徴する旗として船舶に掲揚されるようになったもので、1870年には、「日出ずる国」という国号と意味も一致するとして、商船に掲揚する国旗に制定された。その後、第2次世界大戦前まで日本の国旗として使用されてきたが、敗戦後、日本軍国主義の象徴であったという理由から、国歌にあたる「君が代」とともに日章旗を認めない動きがあったが、1999年に国旗国歌法によって正式に国旗と定められた。

3) 国歌

君が代は、長い間日本の国歌のように歌われてきた。歌の内容は「君が代は / 千代に八千代に / さざれ石の / いわおとなりて / 苔のむすまで」というもので、この歌詞は、10世紀初めに編纂された日本の古典詩歌集『古今和歌集』に出てくる作者未詳の古代詩歌からとったものである。そして、曲は明治時代に作られたものである。君が代は、慣例として国歌斉唱のときに歌われるが、正式に国歌として制定されたのは1999年のことである。

▲君が代

『古今和歌集』にある、身分の高い人や年長者の長寿をいのる詩をもとにして、明治時代に曲がつけられ、事実上の日本の国歌として使われてきた。1999年に国旗国歌法ができて正式に国歌と定められた。

2) 国旗

因一个红色的圆而著名的日本国旗，在日本被称为“日章旗”或“日之丸”。其中有“太阳之旗”的含意。

日之丸，很久以前就作为神社的旗帜而被使用。从16世纪左右开始，作为象征日本的旗帜被悬挂在船舶上。1870年，因其与“日出之国”的国号意义相通，所以被定为国旗，开始悬挂在日本商船上。之后，直至第二次世界大战为止都一直作为日本的国旗而被使用。日本战败后，由于有象征日本军国主义之嫌，因此日本国旗与相当于日本国歌的“君之代”一起存在不被人们认可的倾向，但是后来在1999年，还是依据《国旗国歌法》被正式决定为日本国旗。

3) 国歌

“君之代”（译者注：因其第一句日语为“君が代”而得名），在很长一段时间内都被当作日本的国歌来传唱。歌曲的内容是“吾皇盛世兮，千秋万代；沙砾成岩兮，遍生青苔”。其歌词出自10世纪初编撰的日本古典诗歌集《古今和歌集》中的一首古代诗歌，作者不详。曲子是明治时期谱成的。君之代，按照惯例是在齐唱国歌时歌唱，1999年才被正式确立为日本国歌。

君が代



君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
いわおとなりて
苔のむすまで

▲君之代

《古今和歌集》中有一首祈祷身份高贵者和年长者长寿的诗，明治时期，以此诗为基础，赋以编曲，实际上作为日本国歌被使用。1999年，制定了《国旗国歌法》，正式定此歌为日本国歌。



4) 国花

桜は昔から日本を代表する花と考えられてきた。桜は早くから日本神話にも登場し、咲くときは一斉に華麗な姿を見せながら、散るときは雪が降るようにあっという間に散ってしまう姿が、日本の武士の伝統的な人生観に喩えられたりしながら、日本人にとってもっとも身近な花として親しまれてきた。日本各地には数多くの桜の名所があり、春に桜が咲けば、桜の木の下で料理や酒を楽しむ花見という大きな行事が行われる。

桜以外にも、日本の皇室の紋章が菊であるため、これもまた日本を代表する花であると考えられている。



▲桜

秋の菊と共に日本人がもっとも愛する花が桜である。春の到来を告げる桜の花の下で酒と食事を楽しむ花見は、日本人の大切な年中行事である。満開のあと雪のようにはかなく散っていく桜の姿は、日本人にとって死と無常を象徴するものでもある。

▲桜花

桜花と秋の菊花一样，深受日本人的喜爱。樱花的开放意味着春天的到来，在樱花树下边享受美食美酒边赏花，是日本人一年当中非常重要的传统活动。盛开之后随即像雪花一样凋零的樱花的姿态，对于日本人来说是死亡与无常的象征。

4) 国花

樱花自古就被认为是代表日本的花。樱花很早就出现在了日本的神话当中，盛开时百花齐放，绚丽多姿，凋谢时如寒风吹雪，瞬间飘零。其姿态可被喻为日本武士传统的人生观，作为最贴近日本人日常生活的花朵而为人们所喜闻乐见。日本各地都有很多赏樱胜地，春季樱花盛开之时，人们会在樱花树下享受美食美酒，举行盛大的观赏樱花的活动。

除了樱花以外，由于日本皇室使用菊花（花纹）作为徽章，因此菊花也被视为代表日本的花朵。

5) 国鳥

日本の国鳥は雉である。雉は、日本神話や説話などによく登場し、日本人にとってもっとも伝統的で身近な鳥といえるだろう。しかし、雉が国鳥に指定されたのは1947年で、それほど昔のことではない。

5) 国鳥

日本の国鳥は雉。雉在日本神话和传说等中经常出现，对于日本人来说，也可以说是最为传统且熟悉的一种鸟吧。但是，雉被定为日本的国鸟却是1947年的事，并不久远。

また、日本サッカー協会では3本足の烏をシンボルとしているが、3本足の烏は神話に登場する八咫鳥^{やたがらす}のことである。八咫鳥は、初代天皇である神武天皇^{じんむてんのう}が大和に進撃するとき道案内をしたと伝えられている。

6) 富士山

富士山は日本でもっとも高い山で、海拔3776mである。18世紀初めに大噴火が起こった後、噴火活動は休止状態である。円錐形をしており、裾野の面積は非常に広い。頂上付近はほとんど一年中雪で覆われており、その美しい姿でよく知られている。また晴れた日には、100km以上離れた東京^{とうきょう}からもその姿を見ることができる。日本人は長い間、富士山を伝統的な日本の姿として大切にきてきており、そうした意味から日本の象徴だということができる。

另外，日本足球协会将一种三足乌作为协会的象征，这种三只脚的乌鸦是在日本神话中出现的八咫鸦。传说日本第一代天神武天皇在攻打大和（译者注：旧国名，在如今的奈良县）时，八咫鸦曾为其引路。

6) 富士山

富士山是日本最高的山，海拔3776米。18世纪初大喷发之后，一直处于休眠状态。其山体成圆锥形，山麓面积非常广阔。富士山峰顶附近几乎终年积雪，因其姿态美而天下闻名。天气晴朗的时候，在远隔100公里以外的东京都能看到其美妙的身姿。长久以来，日本人都将其视为具有日本传统风格的姿态而珍视，从这个意义上来说，富士山也堪称日本的象征。



▲富士山

静岡県・山梨県にまたがる日本一高い山で、標高3776m。日本を象徴する山として、古代以来、信仰の対象となってきた。和歌などの古代詩歌にもよく歌われている。津軽富士・南部富士など、日本各地に富士という名前をつけて呼ばれる山がある。

▲富士山

富士山は横跨静岡県と山梨県の日本第一高山，海拔3776米。作为象征日本的山，自古以来就是日本人信仰的对象。在和歌等古代诗歌里面也经常被吟诵。除此之外，像津轻富士、南部富士等，在日本各地还有以富士命名的山。



2 日本人

1) 日本人のアイデンティティ

日本人の起源については歴史学・考古学・人類学・言語学など、様々な分野において、様々な説がある。しかし、今はまだその起源が特定できておらず、今後も確かな結論を得るには時間がかかりそうである。

今まで出てきた多様な説を総合してみると、現在、日本人の先祖は旧石器時代から日本に住んでいたという説と、大陸から日本に渡ってきた先祖が先住民を支配して今に至っているという2つの説に分けられる。

そして一番新しい説では、アジア大陸の騎馬民族、特に朝鮮半島の勢力が中心となって、日本列島に入り原住民と混血していったという、騎馬民族征服王朝説などが提起されている。結局、日本列島には古代以来、朝鮮半島、中国、東南アジアの各地から移住してきた人々が文化を伝え、こうした様々な人種と文化が、お互い融合しながら今日の日本人を形成したとみるのが正しいと思われる。

日本人は、こうした様々な過程を通じ1つの民族を形成してきた。そして古代国家が成立した後、同一民族、つまり日本人というアイデンティティを追求し今になっている。日本人の出身地の範囲は、主に日本列島の本島である本州がその中心だったが、こうした日本人とは別に、近代以前まで、日本列島の最北端にある北海道と、最南端にある沖縄では、伝統的な日本人と違う、別のアイデンティ

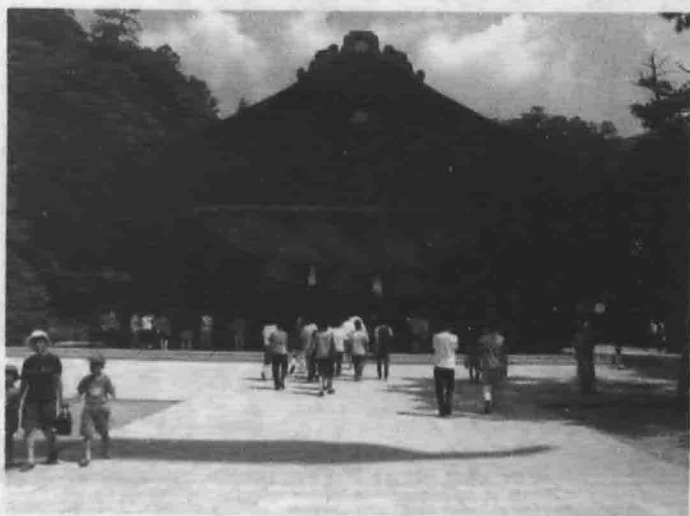
2 日本人

1) 日本人の自我同一性

关于日本人的起源问题，在历史学、考古学、人类学、语言学等诸多领域，可以说是众说纷纭。但是，目前关于其起源尚无定论，恐怕今后要得到一个确定的结论的话，需要花费相当长的时间。

综合一下迄今为止出现的各种学说，可以分为两大类：一种认为现代日本人的祖先从旧石器时代开始就已经居住在日本了；另外一种则认为从大陆渡海而来的祖先统治了日本的原住民，一直到今天。

除此之外还有一种最新的说法，提出所谓的游牧民族征服王朝论。该说法认为是亚洲大陆的游牧民族，特别是以朝鲜半岛的势力为中心的游牧民族，进入日本列岛，与原住民通婚繁衍至今。从结论上来说，自古以来，人们从朝鲜半岛、中国、东南亚各地移居到日本列岛，传播文化，然后随着各地的人种和文化等相互融合，形成了现在的日本人。可以认为这种说法是比较妥当的。



▲出雲大社

大国主神をまつる神社で、島根県出雲市にある。日本の建国神話と深い関係があり、男女を結びつけてくれる神として、多くの日本人の信仰を集めている。

▲出云大社

出云大社は供奉着大国主神の神社、位于岛根县出云市。与日本的建国神话有着深远的渊源，并作为缔结男女良缘的神，为众多日本人所信仰。

ティーを持った人々が、独自の生活を行っていた。特に沖縄では、19世紀まで琉球王国りゅうきゅうおうこくが存在した。しかし、近代に入って日本はこの王国を合併し、北海道のアイヌ族と沖縄の人々を、強制的に日本人に同化させた。こうした近代における新しい民族併合の過程は、他の民族に対する強制や差別など、古代から民族の形成を通じて共感を形作ってきた単一民族としてのアイデンティティに、多くの問題を引き起こした。また、近代以降、植民地時代を経て日本には在日韓国人や朝鮮人などが定住するようになり、彼らの歴史もまた、日本人というアイデンティティとの共存、共生の過程をめぐり、差別的構造のなかにあったと言える。

21世紀のグローバル時代を迎え、日本にはさまざまな外国人が住んでいる。果たして本当の日本人のアイデンティティとは何であり、他民族との共存・調和はどのように模索すべきなのかという問題を、グローバル時代を前に、より真剣に検討すべきだろう。

日本人就是经过这样一个多样的发展过程形成了一个民族。然后，古代国家建立以后，不断追求同一民族的同一性，即日本人的同一性，直至今天。日本人的出生地范围，主要集中在日本列岛的本岛，也就是本州岛上。在近代之前，居住于日本列岛最北端的北海道和最南端的冲绳的人们，跟本州岛上的传统日本人具有不同的特点，过着不同的生活。特别是在冲绳地区，琉球王国一直存续到19世纪。但是，进入近代以后，日本吞并了这个王国，并将北海道的阿依努民族和冲绳人强制同化为日本人。在这种近代的新民族合并的过程中，产生了对于其他民族的强制与歧视等很多问题。从古代日本开始，通过民族的融合而形成认同感的这个单一民族的同一性方面，一直存在着很多问题。另外，近代以后，经历殖民地时代，很多在日韩国人、朝鲜人等开始定居日本，可以说他们的历史也是围绕着与日本人的同一性的共存与共生的过程，处于一个受歧视的社会结构当中。



▲沖縄の伝統衣装

沖縄は日本の最南端に位置し、中国と近接している。かつては独立した琉球王国であり、独特な言語や文化などをもっている。

▲沖縄の伝統衣装

沖縄位于日本的最南端，与中国比邻。曾经是独立的琉球王国，拥有独特的语言与文化等。

随着21世纪这个全球化时代的到来，日本居住着世界上很多国家的人们。日本人的同一性到底是什么，与其他民族的共存、和谐该如何摸索下去，这些都成为人们在全球化面前需要更加认真探讨的问题。



2) 日本人論

日本人論というのは、文字通り過去から現在に至るまでの日本人のアイデンティティを明らかにするものである。今まで、日本人自身はもちろんのこと、外国人の視点からも、様々な分野でいろいろな方法論による日本人論が示されてきた。日本人論は主に、近・現代日本人の行動様式及び、生活様式の特質を明らかにするので、日本文化の理論を明らかにするのが目的であった。明治時代以降、日本文化は日本の近代化に大きな役割を果たした。そうしてその近代化を円滑にできた要因の1つとして、日本人の集団主義がしばしば挙げられてきた。これは西欧型近代化が、個人主義をもとに成長してきたのとは全く対照的であると言える。

西洋の近代思想を、体系的に日本に紹介した日本最初の思想家は、福沢諭吉^{ふくざわ ゆきち} (1834年～1901年)である。福沢は『文明論之概略』^{ぶんめいろんのがいりやく} (1875年)で自分の文明論を「衆心発達論」だと称し、民衆精神の発達こそが文明の発達だと主張した。明治時代末期には、夏目漱石^{なつめ そうせき} (1867年～1916年)が日本の近代化を危機的状況にあるとみて、日本は着実に文明開化の道を進まなくてはならないと主張した。つまり西欧からの外圧による、自己本位でない急激な開化、いわゆる近代化に対しては批判的な態度をとった。

第2次世界大戦が起こる前の日本文化論は、大部分は主観的であり、国家意識が濃厚な国粹主義的な傾向を見せた。その中で和辻哲郎^{わつじてつろう} (1889年～1960年)は、著書『風土』^{ふうど} (1929年)で、表面的な生活様式を変えても、性格を変えるのは難しく、長い年月を経て形成された日本民族性格は風土と深く関係していると指摘し、日本人の国民性を「しめやかな激情・戦闘的恬淡」

2) 日本人論

所谓的日本人论，如字面那样，就是揭示从古至今的日本人同一性的一种理论。迄今为止，日本本国人自不必说，还有很多外国人也通过自己的视角，从不同领域，使用各种方法论来阐述日本人论。日本人论主要揭示近现代日本人的行为模式、生活方式的特征，以明确日本文化的理论为主要目标。明治时代以后，日本文化对日本近代化进程发挥了很大的作用。而且，作为其近代化顺利发展的一个重要原因，人们常常提及日本人的集团主义，而西方的近代化发展则强调个人主义。可以说两者形成了鲜明的对比。

最先将西洋近代思想系统地引进到日本的是日本的思想家福泽谕吉 (1834年—1901年)。福泽在《文明论之概略》 (1875年)中，将自己的文明论称为“众心发达论”，主张只有民众精神的进步才能带来文明的进步。到了明治时代末期，夏目漱石 (1867年—1916年)认为日本的近代化正处于危机时刻，日本必须踏实地推进文明开化的道路。也就是说，他对在来自西欧的外部压力之下，失去自我的激进性开化这种所谓的近代化持否定态度。

第二次世界大战爆发之前的日本文化论，大部分都非常主观，显示出浓厚的国家意识的国粹主义倾向。其中，和辻哲郎 (1889年—1960年)在其著作《风土》 (1929年)中指出，即使改变了表面的生活方式，也难以改变其性格，经过长年累月形成的日本民族性格与日本的风土习惯紧密关联。他认为，日本人的国民性是“静谧的激情与战斗的恬淡”

と定義して、それが家族的結合、皇室を宗教視する家族国家の形成に大きく貢献したと主張した。第2次世界大戦以降は、このような国粹主義的文化論に代わり科学的な研究による日本人論が登場したが、その始まりがルース・ベネディクトの『菊と刀』である。

アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクト (Ruth Benedict, 1887 年～1948 年) は著書『菊と刀』(1946 年)の中で、日本文化の特徴は「集団主義」と「恥の文化」に大別されると主張した。その後、集団主義は日本の近代化と現在の経済成長を導き出した基本要因と評価されてきた。ベネディクトは一度も日本に行ったことがないにもかかわらず、『菊と刀』で日本人の精神世界と文化の全体像を生き生きと描き出したが、その方法は文化相対主義によるものであったと言える。その後も多くの日本文化論が登場したが、大体が日本人のアイデンティティを外国または異文化と比べながら、その意味を強調したものが主流だった。その結果、全体的に日本人のアイデンティティを強化し、合理化するイデオロギーとして作用しているという批判が提起されたりもし、韓国、中国など東アジアの国家と共通の文化を、日本だけのものと誤って認識し叙述する間違いも見られた。

淡”，并主张这种民族性为（日本民族间）家族般的团结，视皇室如宗教的家族式国家的形成做出了巨大的贡献。第二次世界大战以后，依据科学研究的日本人论代替了这种国粹主义文化论，最先登场的就是鲁思·本尼迪克特的《菊与刀》。

美国的文化人类学家鲁思·本尼迪克特 (Ruth Benedict, 1887 年—1948 年) 在著作《菊与刀》(1946 年)中指出，日本文化的特征可以大致分为“集团主义”和“耻感文化”两大类。随后，集团主义被认为是推动日本近代化和现代经济成长的基本要因。鲁思·本尼迪克特虽然从未去过日本，但是却在《菊与刀》中对日本人的精神世界与文化全貌做出了栩栩如生的描绘，可以说这是采用了（文化人类学的）文化相对主义的研究方法。在此之后，虽也有很多日本文化论陆续出现，但其主流都是将日本人的同一性的特性与外国或异文化进行对比，并对其意义进行强调。其结果，就像人们所批判的那样，这样就整体上强化了日本人的同一性的特质，使之形成合理化的意识形态而产生作用，并且存在着把与韩国、中国等东亚其他国家共同的文化错误地认为是日本独有的文化，并加以不确切的论述的问题。



▲福沢諭吉 (1834 年～1901 年)

教育家・启蒙思想家・慶應義塾創立者。実学を奨励し、富国強兵を主張して、資本主義の発展に思想的な根拠を提示した。また、『西洋事情』『学問のすゝめ』などの著作によって、国民の教育と啓蒙に大きな影響を与えた。一方、福沢は徹底的な国粹主義者で、アジアを軽視する脱亜論を主張した。

▲福泽谕吉 (1834 年—1901 年)

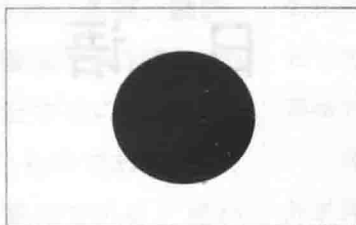
教育家、启蒙思想家、庆应义塾创始人。奖励实学，主张富国强兵，为资本主义的发展提供了思想上的依据。另外，他的《西洋事情》《学問のすゝめ》等著作，对国民的教育和启蒙产生了很大的影响。另一方面，他是一个彻底的国粹主义者，主张轻视亚洲的脱亚论。



● キーワードでまとめる ●

日章旗

江戸時代には日本の船舶をあらわす旗だったものが、明治時代になって国旗として使われ始めた。現在では祝日などに官公庁で揚げたり、スポーツ大会で国旗として使われたりするが、個人の家庭で国旗を揚げることはほとんどない。



▲日本の国旗である日章旗
▲日本の国旗日章旗

ふくざわ ゆきち
福沢諭吉の脱亜論

1885年に福沢諭吉が新聞『時事新報』の社説で発表した主張。欧米の軍事的圧力によって開国した日本は、明治維新以降の近代化政策のなかで、欧米を賛美すると共に、亜細亜の諸国に対しては同情や蔑視の感情を持つようになった。福沢は、日本は西洋の文明に移ったが、中国・韓国は古い制度のままで改革を行っていないとし、日本は両国が改革されるのを待っている余裕はないので、西洋の文明国と行動を共にすると主張した。この福沢の脱亜論は、日本の帝国主義の膨張や、10年後に日清戦争を起こす思想的原動力となった。

きく かな
『菊と刀』

アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクト（1887年～1948年）の著書で、第2次世界大戦後、日本と日本人を最もよく説明した象徴的な本として知られている。菊（平和）を愛しながらも刀（戦争）をあがめる日本人の二重性をすどく解剖した本であり、西欧の日本人論の古典といえることができる。

恥の文化

ルース・ベネディクトは『菊と刀』の中で、日本人の特徴を集団主義・義理・恥の文化という概念で結論づけ、道徳的基準を罪の内面的自覚（罪の文化）に置いて自らを修めていく西欧の文化に対し、日本の文化は周囲の人々を意識し、他人の批判を基準とする恥の文化だという。

● 关键词总结 ●

日章旗（日本国旗）

江戸時代用来表示日本船舶的旗帜，到了明治时代开始作为国旗使用。现在，日章旗会在节假日等时候挂在政府机关，或者是在运动会上作为国旗使用，但是个人家中几乎没有挂国旗的习惯。

福泽谕吉的“脱亚论”

这是1885年福泽谕吉在报纸《时事新报》的社论中发表的主张。迫于欧美的军事压力而对外开放的日本，在明治维新之后的近代化政策下，一边赞美欧美诸国，一边对亚洲诸国表示出同情和蔑视。福泽认为，日本已经转向西洋文明，而中国和韩国却仍固守着古老的制度不思改革，并指出日本已经无法等待两国改革，将与西洋诸国共同行动。福泽的这种脱亚论成为日本帝国主义自我膨胀，并在10年后成为发动中日甲午战争的思想动力。

《菊与刀》

这是美国文化人类学家鲁思·本尼迪克特（1887年—1948年）的著作，作为第二次世界大战后最深刻地阐述了日本和日本人的象征性论著而闻名。书中敏锐地剖析了既热爱菊（和平）又推崇刀（战争）的日本人的双重性格，堪称西方日本人论的经典之作。

耻感文化

鲁思·本尼迪克特在《菊与刀》中，将日本人的特征归纳总结为集团主义、情义、耻感文化等概念。他认为，西方文化是将道德标准置于对于罪恶的内省（“罪感文化”）之上而不断向善修行，而日本文化则是通过对周围人的认识，以他人的评论为基准来衡量自己的“耻感文化”。

